

# 御船町地域連携保全活動計画

【概要版】

～多様な生物が保全され、生態系サービスがもたらす“わくわく”を感じるまち～



吉無田高原での地域イベント

## ②自然資源をいかした地域活性化、及び観光交流の推進

吉無田高原を中心とした施設や、化石ひろばなどの田代地区の自然資源は、地域活性化や観光交流のための起爆剤ともなることが大きな特徴です。これらの地域活性化や観光交流に資する資源を有効に活用し交流人口を増加させるとともに、自然と共生しながらの賑わい創出に向けたアイデアを出し合い、可能な限りそれらのアイデアの実現に向けた取り組みを実施していきます。



吉無田高原そばの花

## ③地域の農産品や林産品の積極的なPRと活用、販売の推進

田代地区の豊かな自然が育み、地元農家や事業者が精魂込めて作り上げる農産品や林産品を町内、町外問わず広くPRしていくとともに、御船町、田代地区ならではの地元産品としてのブランディング戦略を立案し、地域ぐるみ、町ぐるみでの積極的、戦略的なPRや、販売を推進していきます。



吉無田の耕作放棄地を活用したそばの種まき

## ④耕作放棄地等の未利用地の安全管理と積極的利用

田代地区には豊かな自然が残っていますが、これらの自然は人との共生により育まれてきたものです。例えば、田代地区をはじめとする豊かな水と気候を利用した農業中山間地域の水稻と露地野菜の作付農地は、生物多様性の保全を担う貴重な自然資源でもあります。

しかし、一方では、耕作放棄地や空き地などによる土地の荒廃等が見られ、このままでは自然の質が低下していくことも危惧されます。これらの課題の解決にあたっては、クリアすべきハードルも多くありますが、地元、団体、行政が連携して、ひとつずつ課題を解決しながら、未利用地の有効利用などアイデアを積極的に出し合っ、可能な限りの対策を講じていきます。

また、不法投棄や土地への不法侵入など、地域の安全を第一に防犯体制を確立し、パトロールなどを行っています。

## ⑤秩序ある地域づくりに向けた町、団体、関係機関が連携した各種取り組みの推進

田代地区の自然資源や観光資源、町民生活の場として適切に維持されていくように、町民参加による行政のまちづくり施策を積極的に推進していくとともに、地元や団体による自然環境保全や健全なまちづくりに対する機運を高めて、秩序ある地域づくりを実現していきます。

また、生物多様性が保全され、活気あふれる持続可能な地域づくりのために、可能な限り過度な経済的・労力的な負担がかからないように、各主体が連携し、工夫しながら取り組める環境づくりを進めることとします。



吉無田高原からの景色

### (4) 地域連携保全活動計画の推進方策

本計画を推進するにあたって、「御船町地域連携保全活動協議会」を設置し、活動計画の実施状況を定期的に報告するとともに、情報を共有します。



地域連携保全活動推進の概念図

御船町地域連携保全活動計画  
発行：令和2年6月  
編集：御船町役場 環境保全課  
熊本県上益城郡御船町大字御船 995 番地 1  
TEL 096-282-1604  
<http://www.town.mifune.kumamoto.jp/>



令和2年6月

御船町

## 1. 御船町地域連携保全活動計画とは

### 【生物多様性地域連携促進法に基づく計画】

我が国では豊かな生物多様性を保全するために、平成 20 年に「生物多様性基本法」が制定され、多様な主体の連携及び協働による生物多様性の保全のための活動を促進するために必要な措置を講ずることが定められました。

平成 22 年 12 月には、地域の自然的・社会的条件に応じた生物多様性の保全のための活動について、地域の多様な主体（自治体、団体、地域住民、事業者等）が有機的に連携して行うことを促進するための法律である「生物多様性地域連携促進法」が制定されました。

御船町地域連携保全活動計画は、御船町の豊かな自然を基盤とした生物の多様性を保全し、持続的に生態系サービスを享受できるまちを作っていくための計画です。



吉無田水源

### 【生物多様性とは】

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。

生物多様性の保全とは、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」、「生態系の多様性」の生物多様性の3つのレベルが豊かに保たれていることをいいます。



【種の多様性】  
鳥、魚、植物などいろいろな種類の生きものがいること。



【遺伝子の多様性】  
同じ種でも形や模様、生態などに多様な個性があること。



【生態系の多様性】  
各地に森林、草地、河川など様々なタイプの自然があること。

生物多様性の3つのレベル

### 【生態系サービスとは】

生態系サービスとは「自然の恵み」のことです。私たちの暮らしは食料や水の供給、気候の安定など、生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵みによって支えられています。これらの恵みのことを「生態系サービス」と呼びます。



生態系サービスの概念

参考資料：自然の恵みの価値を計る Web サイト（環境省 自然環境局）

## 2. 町全体における生物多様性保全の方針

本町の住み心地の良さを特徴付ける豊かな自然環境は、御船町の誇るべき環境資源です。御船町の自然の恵みは町民の憩いの場、交流の場となっていることはもちろん、町外との観光交流の拠点ともなっており、人の生活に様々な恩恵をもたらしてくれています。言い換えると、これらの御船らしさを特徴付ける豊かな自然環境が、町民生活に多様な「生態系サービス」の享受をもたらしてくれているといえます。

このことから、町全体、地域全体で生物多様性を豊かにするための行動を実践することにより、より多様な生態系サービスを十分に受けられる環境づくりを行い、町の将来像である「みんながわくわくする御船町」の実現に寄与することとします。

■御船町全体での生物多様性の保全に向けたビジョン

多様な生物が保全され、  
生態系サービスがもたらす“わくわく”を感じるまち  
御船町

## 3. 地域連携保全活動計画

### （1）生物多様性保全に向けた行動を牽引する重点地域（計画区域）

本計画では、御船町全体の生物多様性保全の考え方を示します。また、生物多様性保全に向けた行動を牽引する重点地域として、「吉無田高原」や、「吉無田水源」、「長生のイチイガシ」などの御船町を代表する自然資源があり、これらの自然の恵みを活用した観光資源が豊富な吉無田を中心とした「田代地区」を対象区域として設定します。



田代地区の位置

### （2）生物多様性の保全目標

田代地区の環境資源を保全していくことはもちろん、さらに活用するためには、その資源を大切に“磨き上げる”ことも重要であると考えます。このためには、地区の生物が多様になり、十分な生態系サービスの享受ができる環境を作っていく必要があります。これらのことから、田代地区における生物多様性の長期的な保全目標として以下を目指します。

#### 【長期目標】

賑わいと安らぎをもたらす吉無田を中心とした田代地区の豊かな自然の保全と生物多様性の創出

また、長期目標を実現するために、以下の短期目標を定めます。

#### 【短期目標】

地域の自然を“知る”“感じる”“行動する”、そして“連携し保全する”ための取り組みの推進

計画期間は令和 2 年度を初年度とし、長期目標を 9 年間、短期目標を 3 年間それぞれ睨んだ計画とします。

短期目標の 3 年間の目途に、計画の進捗状況について「御船町地域連携保全活動協議会」で確認し、その時に応じた課題を踏まえ、その次に実施する行動に対して改善を図りながら長期目標を達成するものとします。

### （3）地域連携保全活動の内容

本計画により地域連携保全活動を実施することにより、吉無田高原を中心とした田代地区の自然環境を保全するとともに、地域の生物多様性の保全と創出、自然資源をいかした観光交流を推進します。

実施にあたっては、これまでも田代地域の自然環境の保全やまちづくりに尽力してきた NPO や町民団体、地域住民、地元組織等を中心に活動を推進するとともに、御船町は行政としての支援、行動連携、各機関等の調整を行っていきます。

#### ①吉無田高原を中心とした田代地区の自然環境の保全

御船町を特徴付ける自然資源である吉無田高原の保全に向けて、各組織が連携しながら活動を実施します。具体的には、町民や子どもたち、学生との協働による動植物の調査の実施や、自然環境保全意識の醸成を目的とした環境教育・学習イベントなどを実施します。



自然とのふれあいイベント開催例



団体による自然とのふれあいイベント開催